

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2003-504293 (P2003-504293A)

【公表日】平成 15 年 2 月 4 日 (2003.2.4)

【出願番号】特願 2000-605537 (P2000-605537)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 6 B 31/00

B 0 1 J 7/00

B 6 0 R 21/26

C 0 6 B 29/02

C 0 6 B 31/02

C 0 6 B 31/28

C 0 6 B 43/00

【F I】

C 0 6 B 31/00

B 0 1 J 7/00

A

B 6 0 R 21/26

C 0 6 B 29/02

C 0 6 B 31/02

C 0 6 B 31/28

C 0 6 B 43/00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 18 日 (2004.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ガス発生組成物であって、5 - アミノテトラゾール硝酸塩からなる燃料；および

相安定化硝酸アンモニウム、ならびにアルカリ金属およびアルカリ土類金属の硝酸塩、亜硝酸塩、過塩素酸塩、塩素酸塩および亜塩素酸塩、およびアルカリ金属、アルカリ土類金属および遷移金属の酸化物からなるグループから選択される、少なくとも 1 つの酸化剤の混合物を含む、前記組成物。

【請求項 2】 5 - アミノテトラゾール硝酸塩が、ガス発生組成物の 30 ~ 95 重量 % の濃度で用いられ酸化剤がガス発生組成物の 5 ~ 70 重量 % の濃度で用いられる、請求項 1 の組成物。

【請求項 3】 不活性な組み合わせのスラグ形成剤、結合剤、プロセッシング助剤ならびにシリコン、ケイ酸塩、珪藻土、粘土、およびアルミナ、シリカ、ガラスおよびチタニアのような酸化物からなるグループから選択される冷却剤をさらに含む、請求項 1 の組成物であって、該不活性スラグ形成剤が、ガス発生組成物の 0.1 ~ 20 重量 % の濃度で用いられる前記組成物。

【請求項 4】 酸化剤が、硝酸カリウムおよび硝酸ストロンチウムからなるグループから選択される、請求項 1 の組成物。

【請求項 5】 5 - アミノテトラゾール硝酸塩を含有するガス発生剤を用いる工程を含む、車両乗員拘束装置内でガスを発生する方法。

【請求項 6】 5 - アミノテトラゾール硝酸塩を含むガス発生剤を用いる工程を含む、シートベルトプリテンショナー内でガスを発生する方法。

【請求項 7】 5 - アミノテトラゾール硝酸塩からなるガス発生剤を用いる工程を含む、シートベルトプリテンショナー内でガスを発生する方法。

【請求項 8】 燃料としての 5 - アミノテトラゾール硝酸塩、及び相安定化硝酸アンモニウムの混合物を含む、ガス発生組成物。

【請求項 9】 5 - アミノテトラゾール硝酸塩が、ガス発生組成物の 30 ~ 95 重量 % の濃度で用いられ、および相安定化硝酸アンモニウムが、ガス発生組成物の 5 ~ 70 重量 % の濃度で用いられる、請求項 8 の組成物。

【請求項 10】 不活性な組み合わせのslag形成剤、結合剤、プロセッシング助剤ならびにシリコン、ケイ酸塩、珪藻土、粘土、およびアルミナ、シリカ、ガラスおよびチタニアのような酸化物からなるグループから選択される冷却剤をさらに含む、請求項 8 の組成物であって、該不活性slag形成剤が発生組成物の 0 . 1 ~ 20 重量 % の濃度で用いられる前記組成物。

【請求項 11】 5 - アミノテトラゾール硝酸塩からなる燃料、及び相安定化硝酸アンモニウムの混合物を含むガス発生組成物。

【請求項 12】 5 - アミノテトラゾール硝酸塩が発生組成物の約 73 重量 % の濃度で用いられ、および相安定化硝酸アンモニウムが発生組成物の約 27 重量 % の濃度で用いられる、請求項 11 の組成物。

【請求項 13】 5 - アミノテトラゾール硝酸塩がガス発生組成物の約 73 . 12 重量 % の濃度で用いられ、および相安定化硝酸アンモニウムがガス発生組成物の約 26 . 88 重量 % の濃度で用いられる、請求項 11 の組成物。

【請求項 14】 請求項 1 ~ 4 または 8 ~ 13 のいずれかに記載の組成物を含む、車両乗員拘束装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

最も好適な態様は、73 . 12 % の 5 - A T N と 26 . 88 % の P S A N 10 ( 10 % 硝酸カリウムで安定化されている ) を含む。本発明をさらに以下の例によって示す。